

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	柔道整復実技3	実技	3	90	柔道整復学全般
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 2年	馬淵 良美,馬淵 正洋,錦織 輝礼	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	臨床の場面での疾患鑑別に必要な知識を学びます。		
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>柔道整復術を施す、各部位別の運動器外傷の処置方法を学ぶ。処置の方法は、柔道整復治療法である整復法・後療法（手技療法・運動療法・物理療法）を用いる。この授業を通して、臨床で柔道整復師が遭遇する頻度の高い運動器外傷において、基礎的な処置を全学生が施せるようになることを目標とする。</p> <p>また、整復法・評価法においては認定実技審査の項目となる外傷を主に取り扱う。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>実際に接骨業務で使用した、骨折・脱臼・軟部組織損傷に対する整復法、検査法を習得することになる。また、習得知識・技術は、接骨院などの臨床現場で実践するものを指導するが、基礎となる教科書に記載されているものを主に習得することになる。教科書に載っている基礎知識は重要となるため、しっかりと復習する事。</p>					
教科書・参考書					
<p>教科書:公益社団法人全国柔道整復学校協会監修「柔道整復学・理論編(改訂第7版)」 教科書:公益社団法人全国柔道整復学校協会監修「柔道整復学・実技編(改訂第2版)」</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。（公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします）。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授業配布プリントは綺麗に整頓ファイルしてください。 ● 紛失等によるプリントの再配布は行いません。（欠席した場合は、次回の授業までにプリントを職員室まで取りに来てください。） ● 白衣・実習靴などの管理不足は指導対象となります。 					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	実技の定期試験を行う。			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		腱板損傷検査法 Ⅰ. ペインフルアークサイン Ⅱ. ドロップアームサイン Ⅲ. インピンジメントサイン		/	馬淵 良美
2		上腕二頭筋損傷検査法① Ⅰ. ヤーガンテスト Ⅱ. スピードテスト Ⅲ. エルボーフレクションテスト		/	馬淵 良美
3		ハムストリングス損傷(肉離れ)の検査法 ハムストリングを収縮させ疼痛誘発 ハムストリングを伸長させ疼痛誘発		/	馬淵 良美
4		大腿四頭筋損傷の検査法 大腿四頭筋を収縮させ疼痛誘発 大腿四頭筋を伸長させ疼痛誘発		/	馬淵 良美
5		膝関節側副靭帯損傷の検査法 Ⅰ. 側方動揺テスト Ⅱ. 牽引アプレーテスト		/	馬淵 良美
6		膝関節十字靭帯損傷の検査法 Ⅰ. ラックマンテスト Ⅱ. 前方・後方引き出しテスト		/	馬淵 良美
7		膝関節半月板損傷の検査法 Ⅰ. マックマレーテスト Ⅱ. 圧迫アプレーテスト		/	馬淵 良美
8		下腿三頭筋損傷(肉離れ)の検査法 下腿三頭筋を収縮させ疼痛誘発 下腿三頭筋を伸長させ疼痛誘発		/	馬淵 良美
9		足関節外側靭帯損傷の検査法 Ⅰ. 外反ストレステスト Ⅱ. 前方引き出しテスト		/	馬淵 良美
10		骨折・脱臼に対する整復法 ※鎖骨定型的骨折		/	馬淵 良美

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		骨折・脱臼に対する整復法 ※肩鎖関節上方脱臼		/	馬淵 良美
12		骨折・脱臼に対する整復法 ※上腕骨外科頸骨折		/	馬淵 良美
13		骨折・脱臼に対する整復法 ※肩関節前方烏口下脱臼		/	馬淵 良美
14		骨折・脱臼に対する整復法 ※コーレス骨折		/	馬淵 良美
15		骨折・脱臼に対する整復法 ※肘関節後方脱臼		/	馬淵 良美
16		骨折・脱臼に対する整復法 ※肘内障		/	馬淵 良美
17		実技認定試験の流れ説明 腱板損傷の検査法 検査法を口述しながら実地する。		/	馬淵 良美
18		定期試験前 対策 検査法 復習 テスト範囲を復習する。		/	馬淵 良美
19		前期定期試験		/	馬淵 良美
20		定期試験解説 定期試験後のフィードバックを行う。		/	馬淵 良美

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		上腕二頭筋損傷の検査法 検査法を口述しながら実施する。		/	馬淵 良美
22		ハムストリングス損傷(肉離れ)・大腿 四頭筋損傷の検査法 検査法を口述しながら実施する。		/	馬淵 良美
23		膝関節側副靭帯損傷の検査法 検査法を口述しながら実施する。		/	馬淵 良美
24		膝関節十字靭帯損傷の検査法 検査法を口述しながら実施する。		/	馬淵 良美
25		膝関節半月板損傷の検査法 検査法を口述しながら実施する。		/	馬淵 良美
26		下腿三頭筋損傷(肉離れ)の検査法 下腿三頭筋を収縮させ疼痛誘発 下腿三頭筋を伸長させ疼痛誘発 検査法を口述しながら実施する。		/	馬淵 良美
27		足関節外側靭帯損傷の検査法 Ⅰ.外反ストレステスト Ⅱ.前方引き出しテスト 検査法を口述しながら実施する。		/	馬淵 良美
28		定期試験前 対策 検査法 復習 テスト範囲を復習する。		/	馬淵 良美
29		後期定期試験		/	馬淵 良美
30		定期試験解説 定期試験後のフィードバックを行う。		/	馬淵 良美

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		関節可動域測定法 肩甲帯、肩		/	馬淵 正洋
32		関節可動域測定法 肘～手指		/	馬淵 正洋
33		関節可動域測定法 股～膝		/	馬淵 正洋
34		関節可動域測定法 足～足指		/	馬淵 正洋
35		関節可動域測定法 頸部、胸腰部、顎関節		/	馬淵 正洋
36		定期試験前 対策 検査法 復習 テスト範囲を復習する。		/	馬淵 正洋
37		後期定期試験		/	馬淵 正洋
38		定期試験解説 定期試験後のフィードバックを行う。		/	馬淵 正洋
39		徒手筋力検査法 頸部～上肢		/	馬淵 正洋
40		徒手筋力検査法 腰殿部～下肢		/	馬淵 正洋

